

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会下さい。

[研究課題名]

悪性胆道閉塞に対する超音波内視鏡下胆管胃吻合術における新規ステントの安全性・有用性の評価：多施設共同後ろ向き研究

[研究機関]

王子総合病院（病院長 岩井和浩）

[研究代表者]

王子総合病院 消化器内科 主任科長 奥田敏徳

[研究の目的] 閉塞性黄疸に対する治療の第一選択は内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)による胆管ドレナージ術ですが、胆管への到達が困難な場合などに超音波内視鏡下胆管胃吻合術(EUS-HGS)が行われます。しかし、治療関連の有害事象を認めることがあります。今回、比較的新しい金属ステント(EGIS)と既存の金属ステント(Niti-S)を使用した患者さんの治療成績を比較して、EGIS の有効性・安全性を明らかにすることを目的に研究を行います。

[研究の方法] 対象となる患者さん：2019年1月1日から2022年12月31日に癌による胆管の閉塞に対して超音波内視鏡下胆管胃吻合術(EUS-HGS)を受けた患者さん  
・利用するカルテ情報：年齢、性別、既往歴、併存症、施行治療内容、検査結果(血液検査)、画像検査データ、治療効果、合併症など。これらは、カルテ情報について解析を行います。新たに追加検査を行うことはありません。

[研究実施期間]

実施許可日～2024年12月31日

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は医学論文、学会などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※ 上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

王子総合病院 消化器内科 主任科長 奥田敏徳

苫小牧市若草町3丁目4番8号

電話：0144-32-8111 FAX：0144-32-7119